

かつらお再生戦略プラン

福島12市町村の将来像

【有識者検討会資料】

エコ・コンパクトビレッジ

～自然と共生し、一人ひとりの笑顔がみえる、

持続可能なふるさと「かつらお」～

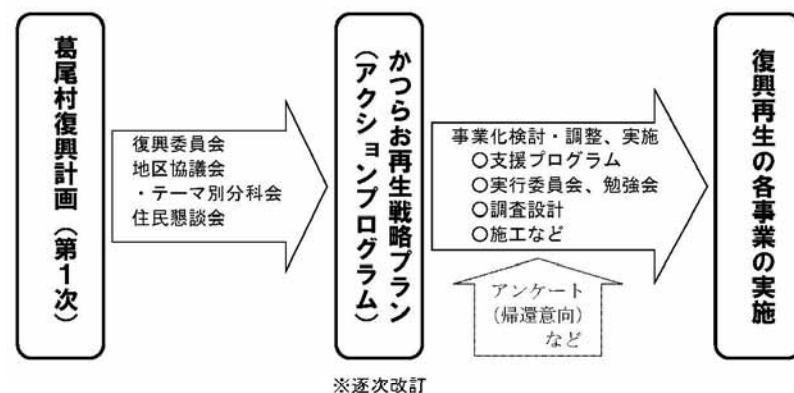
平成26年12月

葛尾村

◆かつらお再生戦略プランとは

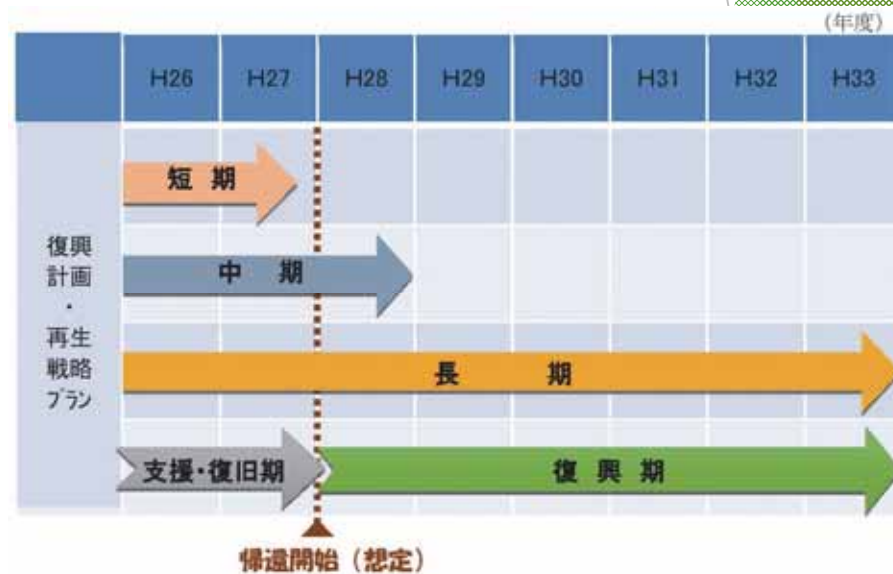
計画の位置づけ

- ・「葛尾村復興計画（第1次）」の実現に向けた
- ・ 段階的なアクションプログラム

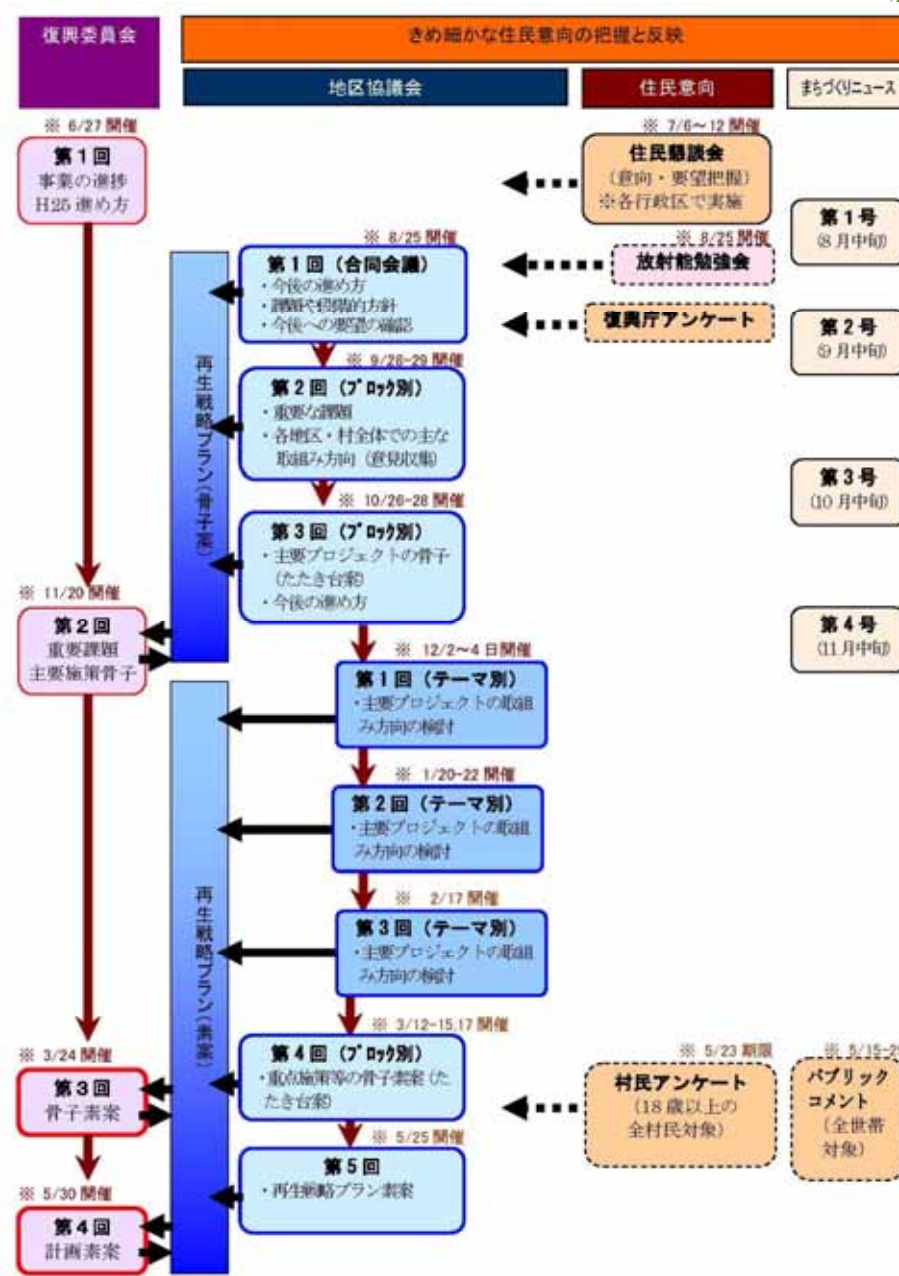


計画の目標期間

- ・目標年次は、平成33年度までの概ね8年
- ・帰還開始時期は、平成28年春を想定



◆計画策定の経緯



◆将来像（新たな村が目指すべき復興後の姿）

エコ・コンパクトビレッジ

～自然と共生し、
一人ひとりの笑顔がみえる、
持続可能なふるさと「かつらお」～

自然との共生、エコ

- ・自然の恵みの有効活用
- ・資源の循環利用

一人ひとりの笑顔

- ・村民全体の絆づくり
- ・安心と笑顔の育成

持続可能、コンパクト

- ・中心部の魅力強化
- ・農業等の元気再生



村民みんなで支え合う豊かな暮らしの再生

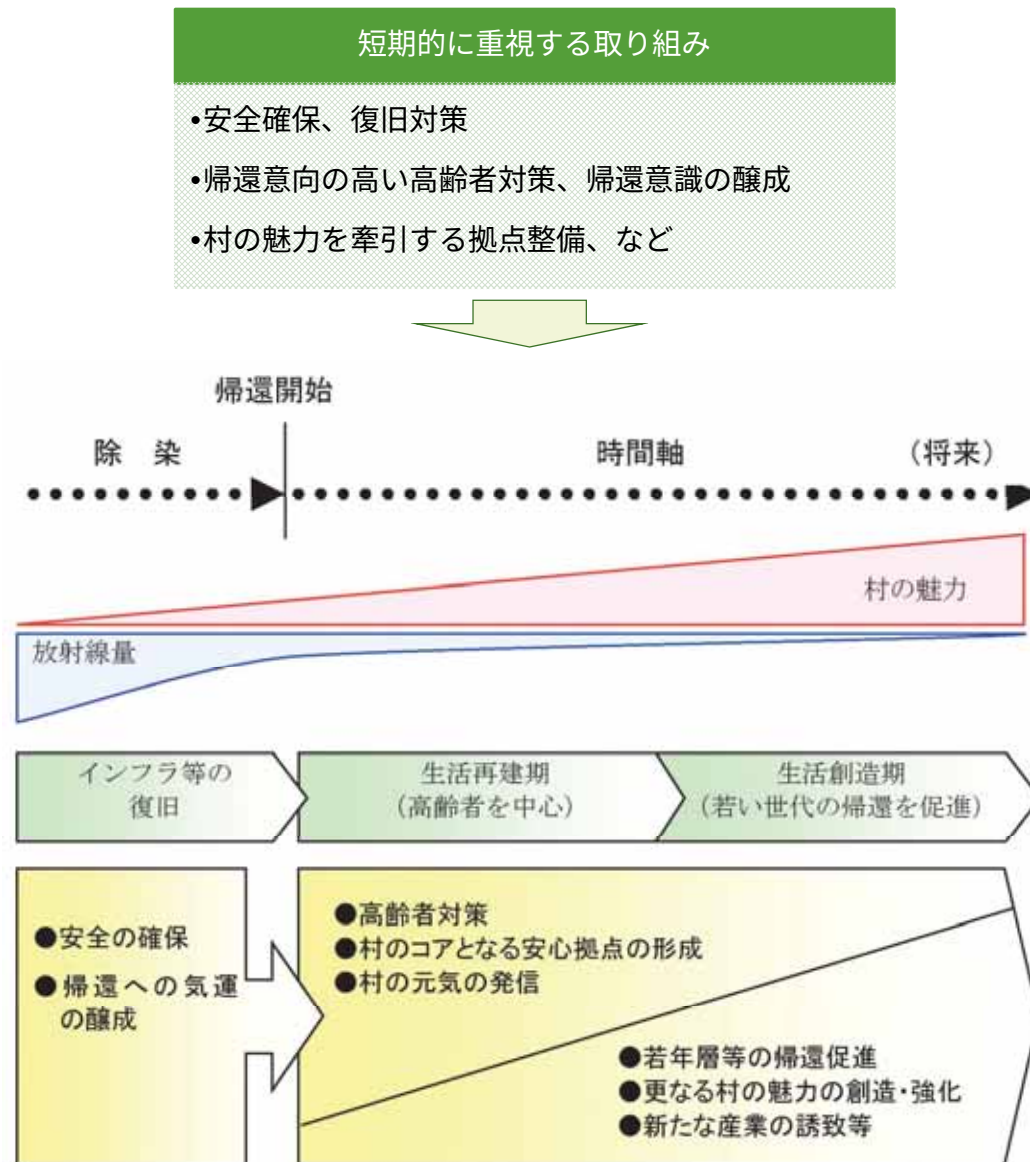
- ・可能な方から村内に帰還できる環境づくり
- ・村外との2地域居住や、村外からの相互応援の受入れ、など



◆主要な施策全体の体系

再生戦略プランにおける主要施策全体の体系		
3つの柱	13の主要施策	施策の方向の主なメニュー
住まい・絆	①集落再建	■各集落(住宅)の再建支援、■各地区の交流環境の充実 ■低線量の先導拠点地区の整備
	②公営住宅整備	■高齢者に配慮した公営住宅の整備、■定住促進住宅・一時帰還施設の整備、■継続的な生活や暮らしの安心確保の支援、■早期の帰還が難しい村民の生活再建を支援するための復興公営住宅の整備
	③絆強化イベント	■帰還意向・人口を高める情報発信と対話機会の充実 ■帰還の有無・時期によらず、村民の一体感・絆を高める取り組み強化 ■復興シンボル拠点づくり、■みんなで支え合う相互支援の体制づくり
安全・安心	④医療・福祉施設整備	■医療サービスの確保、■社会福祉協議会との連携によるきめ細かな介護福祉サービスの充実、■健康増進や介護予防を支える環境づくり ■高齢者等の生きがい活動の活性化、■地域の安心を支える情報ネットワークの構築
	⑤子育て支援環境充実	■学校等の整備と魅力強化、■多様な子育て支援環境の充実
	⑥広域道路整備	■広域道路の拡幅・強化、■浜通り方面への広域道路早期開通の要請
	⑦公共交通支援	■巡回・連絡バスの運行、■きめ細かな移動支援サービスの仕組みづくりの検討
産業再生・活力	⑧放射能安全対策	■有効な除染対策の強化、■放射線量の計測体制と情報発信の強化 ■放射能の学習機会の強化と風評被害対策の推進
	⑨安心農業基盤・体制整備	■効率的な農業基盤の整備、■営農体制の確立、■放射能対策と営農再開への気運醸成、■新作物への挑戦、■収穫・自給自足の魅力ある身近な暮らしづくり
	⑩畜産再建	■畜舎の再建支援、■畜産業の多面的な機能の発揮
	⑪商店再生	■商店再生の支援とにぎわいづくり、■買物支援サービスの強化
	⑫資源循環・再生可能エネルギー	■太陽光発電パネルの設置支援、■自然と共生するエコ村づくり ■多様な新エネルギー利用の展開
	⑬産業振興・雇用創出	■既存企業の再開支援と身近な雇用機会の創出、■地域資源を活かした観光交流・観光関連産業の振興、■新たな産業の誘致検討

◆段階的な成長に向けての方針



◆重点プロジェクトの方向性

まちなかの拠点づくり

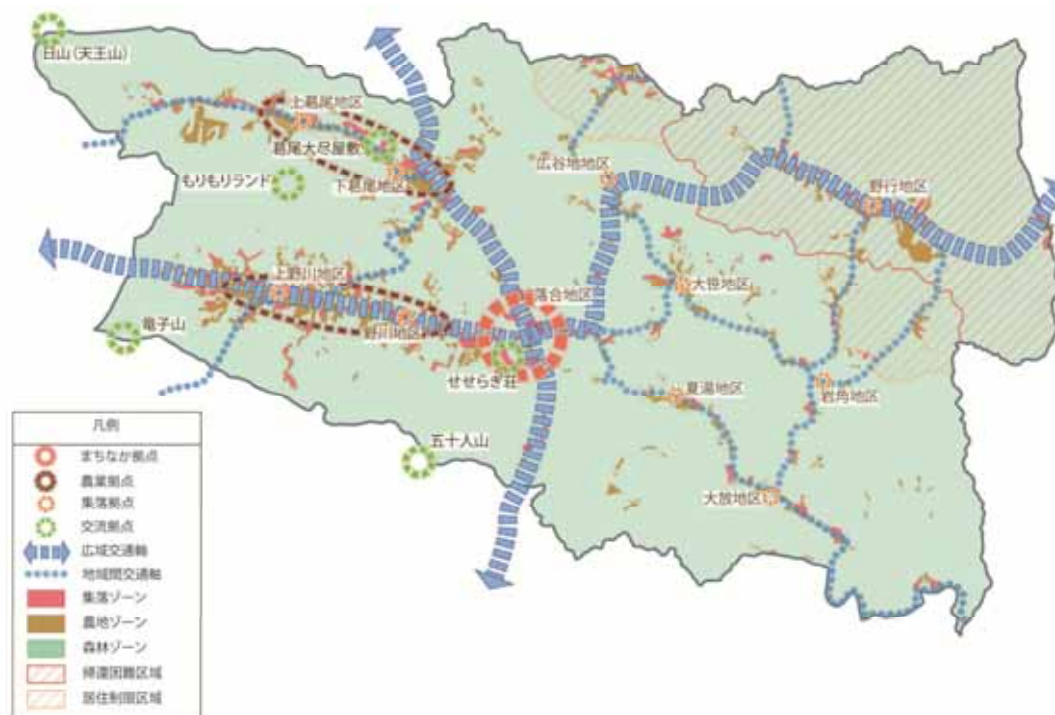
- 村を支える中心機能の強化
- 安心できる住宅の確保
- 村の魅力を先導する環境づくり

農業・集落の拠点づくり

- 農業再生の拠点づくり
- 集落のコミュニティ活性化
- 再生可能エネルギーの展開

絆・交流づくり

- 村内外の交流イベント
- 復興のシンボルづくり
- 支え合う環境づくり



◆まちなかの拠点づくり 重点プロジェクト

村を支える中心機能の強化

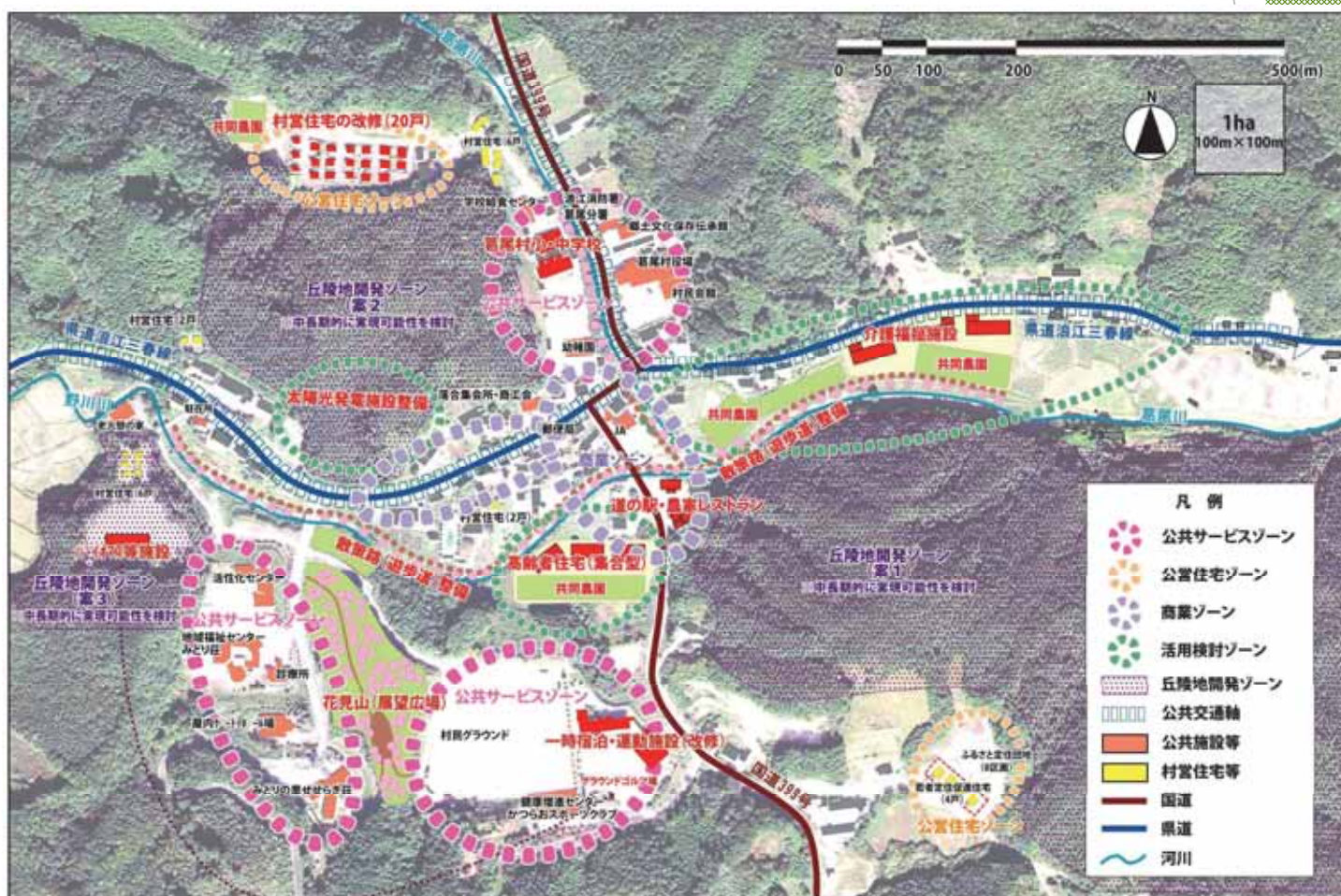
- 安心・賑わいの中枢機能強化
- 再生可能エネルギーのモデル拠点づくり

安心できる住宅の確保

- 除染の強化
- 公営住宅等の整備
- 一時的な帰還・宿泊の支援

村の魅力を先導する環境づくり

- 花を活かした桃源郷づくり
- 中長期での新規丘陵地開発の誘致



◎まちなかの拠点づくり 重点プロジェクト

安心できる住宅の確保

■ みんなで実現する低線量の環境づくり

- [宅地周辺の森林除染](#)の推進
- [線量モニタリング・情報発信](#)の強化
- 放射能勉強会の定期的な開催
- [住宅再建・帰還（片付け・リフォーム等）の支援](#)充実



■ 住宅確保困難者等が安心して暮らせる住まいの整備

- 生活困難者・早期帰還困難者・独居高齢者などの帰還を支援する公的住宅の整備
- ⇒[村営住宅改築、定住促進住宅、帰還用住宅等](#)
- [共同菜園等のコミュニティスペース](#)の確保



■ 一時的な帰還・宿泊の支援

- 一時宿泊施設としての[せせらぎ荘等の活用](#)促進



◎まちなかの拠点づくり 重点プロジェクト

村を支える中心機能（安心）の強化

■ 医療体制の充実

- 診療所（内科・歯科）の復旧
- 医師派遣・巡回診療等の実施
- 現ヘリポートを活かした救急搬送体制の強化
- 放射能不安に対応した定期健康診断の無料実施

■ 高齢者福祉サービスの維持増進

- 地域福祉センター・みどり荘の復旧
- 三春町・葛尾村での福祉サービスの維持増進
- 有資格者の確保・育成強化

■ 高齢者の笑顔を育む環境の整備

- 要介護ニーズに対応した高齢者向け住宅等の誘致・整備
- ⇒特別養護老人ホーム、認知症高齢者グループホーム、サービス付き高齢者向け住宅など
- 生きがい増進の環境づくり
- ⇒多世代交流サロン、共同農園・菜園、ペット等とのふれあい等

■ 健康寿命を高める健康増進の環境づくり

- 健康測定や健康学習・体操等が図れる健康サロンを主要公共施設に設置
- 健康を増進する健康散策路等の整備
- 既存健康増進施設等を活かした健康増進プログラムの充実



◎まちなかの拠点づくり

重点プロジェクト

村を支える中心機能（賑わい）の強化

■ 商店の再建・連携による賑わい拠点整備

○商店連携による道の駅の整備

⇒地域物産品直売所、農家レストラン、
コンビニエンスストア整備など

○注文・宅配サービス、移動販売の強化



■ 道の駅と連携した交流環境整備

○多目的イベント広場や交流サロン整備

○村の情報発信基地の整備



■ 中心部にふさわしいシンボル環境整備

○花の名所・スポットづくり

（山際・水辺・農地・公共施設周辺を花
に囲まれた桃源郷に）

○花・水辺・収穫の散策路の整備

○眺望広場の整備



◎まちなかの拠点づくり 重点プロジェクト

その他の中心機能の強化



■ 子育て支援環境の充実

- 小中学校の統合整備
- 様々な子育て費用等の支援
- 多世代交流や地域学習の強化（高度情報基盤、自然、地域の絆等を活かした、特色ある教育の充実）

■ 資源循環・環境共生のモデル拠点づくり

- 公共施設等への太陽光発電パネル設置によるエネルギー自給
- せせらぎ荘への木質バイオマス利用による熱源供給
- 環境学習の場づくり

中長期の発展的な展開



■ 丘陵地の新規開発

- 産業施設の誘致
- 広域的な帰還困難者の受入れ住宅地の整備など

■ エコミュージアムづくり

- 放射能被害を受けた地域の自然・生物資源等の環境保護に係る調査・研究・人材育成・情報発信等の拠点施設の誘致
- 自然・畜産等の地域資源を活かし、自然・生態系の大切さを学ぶ観察・体験・学習の場づくりとネットワーク形成、カリキュラムの充実

◆農業・集落の拠点づくり 重点プロジェクト

農業再生の拠点づくり

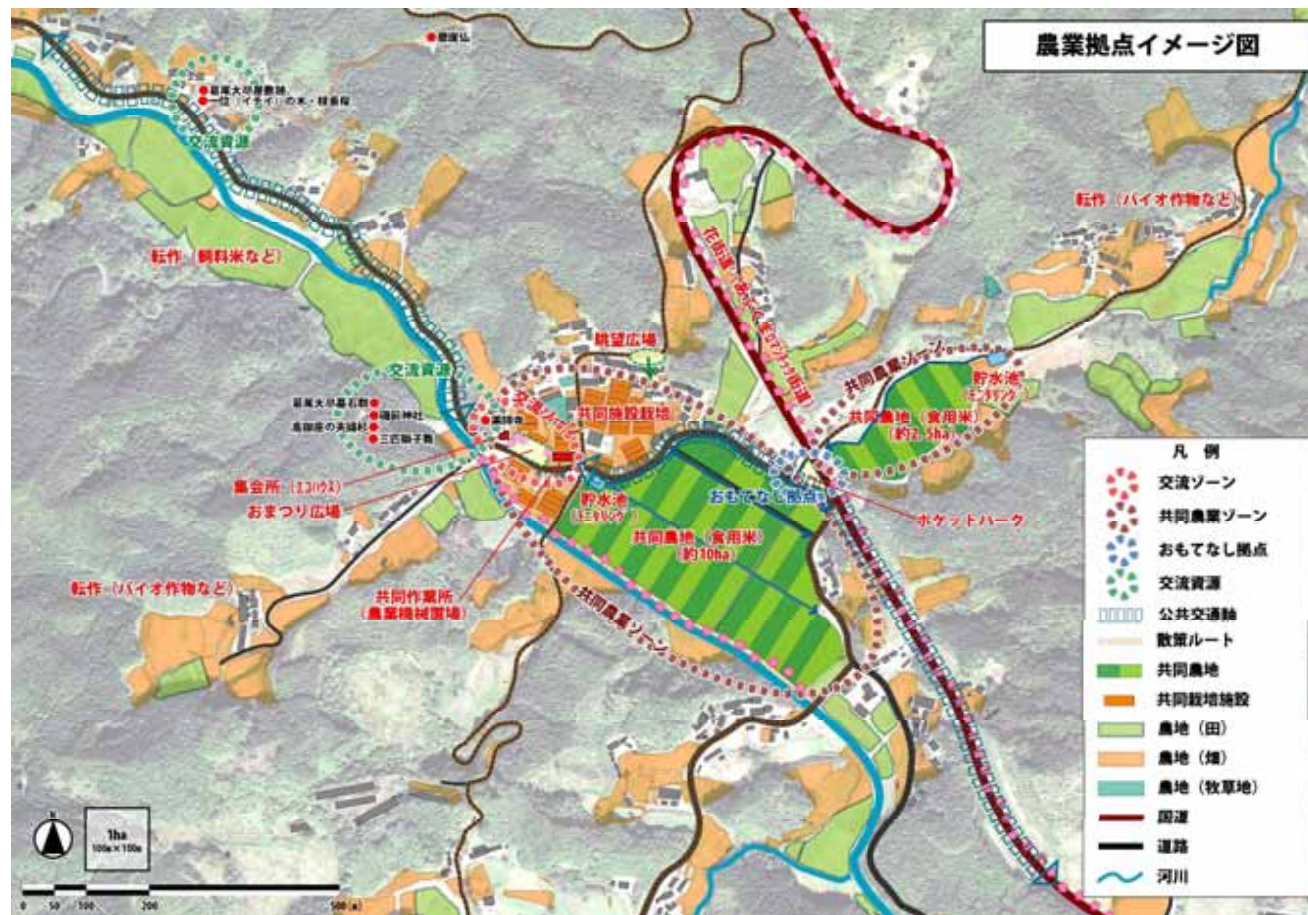
- 農地の集約・大規模化
- 経営体制・営農体制の強化
- 放射能に強い作物の展開

再生可能エネルギーの展開

- 太陽光発電等を活かした経営向上
- バイオ燃料等の資源作物の展開

集落のコミュニティ活性化

- 安心できる集落環境の再生
- 集会所の機能充実
- 農村環境を活かした体験・交流イベントの活性化



◎農業・集落の拠点づくり 重点プロジェクト

農業再生の拠点づくり

再生可能エネルギーの展開

■ 力をあわせた農業の再生

- 農地除染、農業基盤の復旧にあわせて、再開意向のある農業者、高齢者、帰還しない農業者（週末だけなど）等が、集落営農を支えていく体制の構築
- 借地制度による農地の集約、大規模化
- 村民への自給自足米の提供 ⇒ 共同農地で生産（約25haで全村民自給）
- 共同作業所・機械置場などの整備

■ 放射能を克服する農業

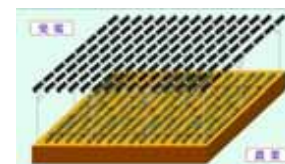
- 試験栽培と安心の発信、仮置き場に対策（短期的な土地活用や農業展開等）
- 農業用水の放射線管理（泥水の沈殿、共同農地の貯水池（用水路）整備等）
- ハウス栽培、水耕栽培など、放射線の影響の少ない栽培形態や新作物の展開
- 花卉類、バイオ作物、飼料米への転作

■ 再生可能エネルギーを活かした持続性のある集落環境

- ソーラーシェアリング、風力発電、小水力発電等（小規模売電）による集落収入の構築
- バイオ燃料の原料となるスイートソルガム等の資源作物の栽培



共同作業のイメージ



ソーラーシェアリング イメージ



放射能の影響を受けない栽培のイメージ

◎農業・集落の拠点づくり 重点プロジェクト

集落のコミュニティ活性化（集落の元気づくり・安心づくり）

■集会所の整備

- 集会所の改修と活用促進（調理室の拡充）
- 健康づくりプログラムの実施（体操、健康測定、ウォーキング）



健康プログラム イメージ

■農村を活かした学びの形成（かつらおエコミュージアム）

- 地域の自然・農作業・畜産等の資源を活かした、観察・体験・学習や交流イベントの活性化
- 里山の風景づくり、花のスポットづくり、健康散策路の整備など



あぶくまロマンチック街道
フォトコンテストより

■高齢者の笑顔を育む環境の整備

- IT端末等をつかった見守り体制づくり、地区情報の発信、利便性を高めるシステムの構築（TV電話・遠隔地医療等）



情報端末イメージ

◆絆・交流づくり 重点プロジェクト

支え合う体制づくり

■ 共助活動を支えるサポート組織づくり

- 住民主体の組織・(仮称)かつらお復興活動センターの創設
⇒ 中心部に拠点センター、各行政区に地区センターを設置
- 各地区の維持・再生活動の担い手集団、村全体の活動のマネジメントや人材育成支援
⇒ 除染・除草・片付け、集落の維持・安心サポート、地区毎の活性化の取組み、村外支援者の受入れ等への企画・調整・支援等

■ 移動支援環境の充実

- 循環・連絡バスの確保（各地区、三春町）
- おたがいさまタクシー等の確保



自家用車有償運送 イメージ

絆強化イベント

- 感謝祭
- 一時帰還交流イベント
- 復興シンボル拠点づくり（花見山の植樹祭など）
- 葛尾村の魅力の情報発信（PRツール・ロゴマークづくり等）



三匹獅子舞

◆実現に向けて

段階的な取り組みの方針

- 本計画及び葛尾村復興計画（第1次）を基本として、村民や各種事業関係者と連携・調整を進めながら、今後関連施策の具体化・実施を進めていきます。
- 今後進行管理を行い、効率的・効果的な事業の進捗を図ります。
- なお、放射能対策の進捗や復旧・復興支援等に係る環境変化、村民・地元企業・関係団体等の事業参画意向等を踏まえつつ、緊急性・必要性・有効性等の高い施策については、柔軟に事業内容・事業時期等の見直しを進めていきます。

<段階的な取り組みに向けての留意事項>

- ・ 村民自身が望む[プロジェクト実現への組織体制づくり、人材育成](#)、各種活性化施策の実施を支援
- ・ 戻らない・戻れない人も含めて、[村民が広く参画・応援](#)できるような、参加しやすく、楽しんで参加できるような取り組み内容を工夫
- ・ [若者や女性・子供たちの参加促進](#)をめざし、関係者の意向の積極的な把握・反映と、村外の学生・若者等も含めた交流機会の拡大
- ・ 各地区における特色や課題を踏まえた、[住民主体の特色ある取り組み](#)の企画検討・実施の支援
- ・ 国・県等の支援制度の最大活用、[周辺市町村との広域連携の強化、民間資本の導入促進](#)
- ・ 施設・環境等の[維持管理にも留意した効率的な復興まちづくり](#)の運営